

資 料

留学生センター概要.....	146
留学生センター沿革.....	150
平成16年度 留学生センター・国際課教職員	152
平成16年度 留学生センター各種委員会委員	153
平成16年度 留学生センター・国際課関連行事等記録	156
平成16年度 授業担当および学位論文審査	168
留学生センター主催研究会記録.....	169
日本語研修コース（第50期）修了生	170
日本語研修コース（第51期）修了生	172
日本語・日本文化研修コース（第23期）修了生	175
平成16年度 短期交換留学生（NUPACE）	177

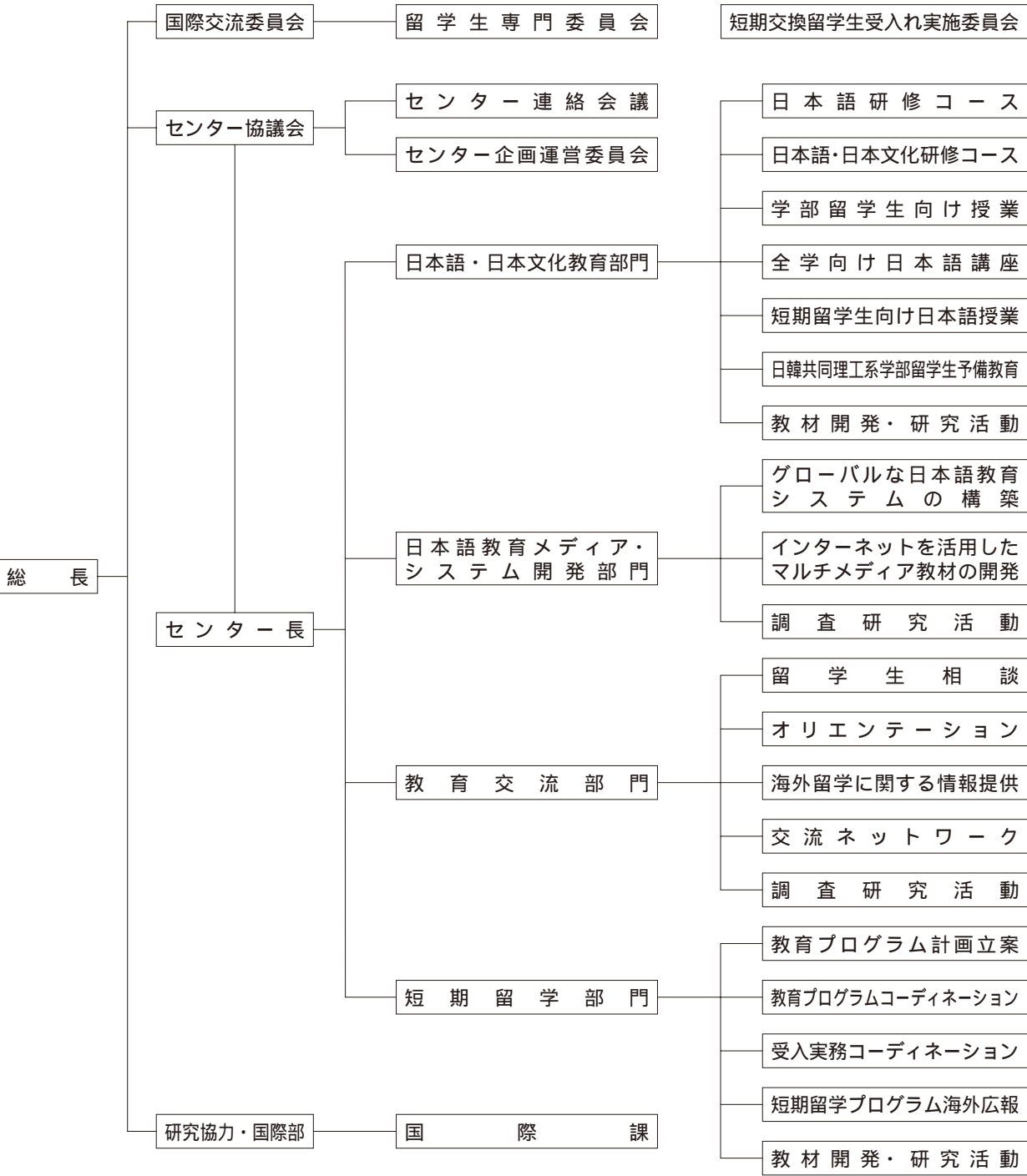
留 学 生 セ ン タ ー 概 要

目 的

1993年に学内共同教育研究施設として設立された留学生センターは、設立当初よりその機能を拡張し続け、

現在は日本語・日本文化教育部門、日本語教育メディア・システム開発部門、教育交流部門、短期留学部門の4部門で構成されています。留学生に対する日本への案内役というだけでなく、名古屋大学の国際化を担

組織図



う中心的施設として重要な役割を期待されています。留学生が自立した学生生活を営めるように、日本語や日本文化の教育、そして生活上・修学上のさまざまな問題に関して支援システムを確立し対応しています。一方、短期留学プログラムでは、短期留学生に日本の大学生活を紹介するのみならず、日本人学生にも国際社会の一端を経験する機会を作っています。更に21世紀のインターネット学習の教材開発やネットワーク構築をめざしています。

組 織

1996年8月短期留学部門が本稼動となり、同年11月には指導相談部門を教育交流部門に名称変更、更に1999年4月日本語教育メディア・システム開発部門が新設されました。

活動内容

日本語・日本文化教育部門

1．日本語研修コース

「日本語研修生」のためのコースです。本学または近隣の大学に配属された国費留学生のうち、研究留学生および教員研修留学生で日本語の予備教育が必要な人を対象に、4月から9月まで、または10月から翌年3月までの6ヵ月間に、16週間の集中的な日本語教育が行われています。

2．日本語・日本文化研修コース

「日本語・日本文化研修生」のためのコースです。10月から翌年9月までの12ヵ月間に31週間にわたって、日本語、日本事情、日本文化に関する特殊講義。レポート作成指導がすべて日本語で行われています。後半には、学部の専門科目の講義を聴講することもできます。

3．学部留学生向け日本語授業

各学部の1年生、2年生を対象とした上級の日本語教育です。専門書を読む、レポートを書く、講義を聞く、ゼミで発表するなど、大学での勉学に必要とされる日本語の技能を伸ばすことが目的です。学生は週に4時間から6時間の授業を受け、単位を取得しています。

4．全学向け日本語講座

全学の外国人留学生および外国人研究者等を対象とした日本語の授業です。平常は、4月から7月まで、

また10月から翌年の1月まで、初級から上級までの能力別で日本語の授業を行っています。春休みおよび夏休みの期間には1日5時間から7時間の日本語の集中講座が行われています。

いずれのコースも受講は無料で、単位を取得することはありません。部局に情報が提示されますので、受講希望者は決められた期間に受講申し込み手続きを行ない、レベル分けテストを受けてください。名古屋大学の学生または研究者であることを証明する学生証や入学許可書等が必要です。

5．短期留学生日本語講座

短期交換留学制度を利用して、本国の大学や大学院に在籍したまま1学期あるいは1年間本学で学ぶ短期留学生を対象とする日本語講座です。日本語能力のレベルによって3つのクラスで、毎日2時間の授業を行っています。

6．日韓共同理工系学部留学生予備教育

日韓共同事業によって日本に留学した韓国の理工系学生たちが、学部に入學する前に受ける6ヵ月間の日本語および専門科目のコースです。学部入學後、速やかに勉学生活に適應できるように高度な日本語運用能力の養成と日本語による専門科目の予備教育を行います。

7．日本語教育の教材開発および研究活動

初級・中級テキストおよび上級の教材を開発しています。また、日本語教育に関する国内外の情報収集や調査・研究も積極的に行っています。

日本語教育メディア・システム開発部門

JEMSは、インターネットおよびマルチメディアの技術を利用した日本語学習ソフトを開発し、遠隔教育による日本語学習を実現するモデルを研究するという目的で、1999年4月に設立されました。

日本語学習ソフトの開発は、学習者がそれぞれの必要性と速度に合わせて使用できる自律学習モデル、および学習者と教師が共通の達成目標を定めて、インターネットや創造ツールを用いて共に学習するという共働もモデルのふたつのモデルを基盤としています。

JEMSは、インターネット技術の活用によって、外国語としての日本語教育に携わる機関が資源を共有し協力しながら新しい日本語学習ソフトを開発したり、新たな日本語学習環境を創出することをめざして、全世界とのネットワークを構築しています。

教育交流部門

1. 留学生相談

海外からの留学生に対して日本での研究や生活が有意義なものとなるよう、留学生の修学上の問題や日本社会での生活上の問題について一人一人を大切にしたい指導・助言を行っています。相談内容は多岐にわたり、事務手続き、指導教官、奨学金、在留資格、宿舍、健康、家族、さらに留学相談等を扱っています。よくわからないこと、困ったことがある時の最初の窓口です。

2. オリエンテーション

4月と10月の年2回、新しく入学した全学に留学生を対象に、大学紹介ビデオ放映、留学生センターおよび留学生課の紹介、各学部の留学生相談室と担当者紹介、奨学金、宿舍、在留資格、医療、交通ルール等に関する説明を行っています。

同じ時期、国際交流会館への新規入居者に対し、入居に関する諸注意事項の説明。職員の紹介などを行っています。オリエンテーションは、入居者の親睦交流を兼ねたティーパーティー形式で、インターナショナルレジデンスと留学生会館で開かれます。

3. 教育交流部門充実のための調査研究活動

教育交流部門では、留学生に関するさまざまな研究に多面的に取り組み、その成果や情報の提供を通じて、留学生に対する理解を促進したいと考えています。

4. 地域社会との交流ネットワーク形成

地域自治体や国際交流ボランティア団体とのネットワークを形成し、相互の情報交換を活発にすることで、留学生と地域社会との交流を促進する活動を行っています。

5. 在学生の海外留学相談および情報提供

近年増加している在学生の海外留学に関する相談および情報の提供を行い、豊かな国際経験を積み社会に貢献できる人材の育成に努めています。

短期留学部門

名古屋大学短期交換留学プログラム（NUPACE）は（財）日本国際教育協会（AIEJ）の支援で1996年に発足しました。NUPACEではその教育プログラムを通じて国際化を図るのみならず、国を越えた友好を広め、これからの国際社会に貢献できる人材育成を目標としています。

NUPACEの教育プログラムでは日本語、日本研究、国際理解・異文化コミュニケーションの授業に加え、

学生のニーズに答えるためさまざまな専門の講義が用意されています。短期交換留学受入れ実施委員会のもと、大部分の講義が英語で開講されています。プログラムへの応募資格は、名古屋大学と学術交換協定を締結している大学の正規学生で、6ヶ月または1年の留学期間を選択できます。NUPACEに関する業務は、教育プログラムの作成、実施、コーディネーション、また国内外での広報活動、学生の入学許可まですべてを短期留学室（NUPACE Office）が行っています。

1. 教育プログラム計画立案

日本語・日本文化教育部門が提供する日本語授業以外に、学部生を中心とした短期留学生のために英語を中心としたカリキュラムを全学的な支援を受けて構築しています。国内外の状況を調査し、留学生や教官等の意見を反映させながら、当面の間毎年更新される教育プログラムの計画や基本構成について立案し、「実施委員会」に提案しています。

2. 教育プログラムコーディネーション

開講する教育プログラムの実施にあたり、シラバス・実施要項作成、スケジュール調整、オリエンテーション、勉強相談、履修・成績管理等の教務関係の連絡・調整を行っています。

3. 受入実務コーディネーション

短期留学の応募受付、学内調整、選考、奨学金申請、受入れ、宿舍、その他の環境整備、派遣元大学との連絡等、受入れ実務関係の連絡・調整を行っています。

4. 短期留学プログラム海外広報

本学と大学間学術交流協定を結んでいる、または協定締結を準備している世界各国の大学から短期留学生を受け入れるために、英文パンフレットの作成、インターネット・ホームページの開設、電子メールの情報交換、短期プログラムの海外出張宣伝などの業務を行っています。

5. 教材開発・研究活動

短期留学部門の教官は、短期教育プログラムの授業の一部を担いながら、短期留学生のニーズに合ったより良い講義内容を目指して、教材開発に取り組んでいます。また、短期留学関連の各種研究会に参加し、日本の各大学で行われている短期プログラムの研究交流を進めています。さらに、各教官の専門分野である材料計測工学、異文化交流、歴史・民族研究などの研究活動を進めています。

国 際 課

国際課は、研究協力・国際部に所属し、本学の国際学術研究協力、国際教育交流に関するあらゆる事務を所掌する中で、留学生関係業務及び「留学生センター」並びに「留学生相談室」の事務も担当し、留学生が安心して勉学に専念できるよう、各部局と連携をとりながら、留学生に対し修学上、生活上の支援業務を行っています。また、留学生関係事業として見学旅行や新入留学生歓迎懇談会を実施しています。

留学生関係業務の主な内容は次のとおりです。

- 1．外国人留学生の受入れ
- 2．外国人留学生の奨学金及び福利厚生
- 3．資格外活動許可申請取次
- 4．帰国留学生のアフターケア
- 5．国際交流会館の入退去および民間宿舎に関する
こと
- 6．学生の海外留学
- 7．学術交流協定締結、授業料不徴収協定
- 8．留学生のデータベース管理及び各種調査
- 9．留学生後援会に関すること
- 10．日本語研修、日本語講座等関係事務
- 11．愛知県留学生交流推進協議会に関すること
- 12．その他

留 学 生 セ ン タ ー 沿 革

	日 本 語 ・ 日 本 文 化 教 育 部 門	教育交流部門（指導相談部門）	短 期 留 学 部 門
1977	語学センターが非常勤講師による外国人留学生のための日本語教育を開始		
1978	専任講師着任，「全学向け日本語講座」授業開始		
1979	語学センターと教養外国語系列が総合され，総合言語センター発足 総合言語センターの1部門として「日本語学科」設置 「日本語研修コース」開講		
1981	「日本語・日本文化研修コース」開講		
1984	教養部在籍留学生対象一般教育外国語科目「日本語」開講		
1991	総合言語センターが言語文化部に改組。それに伴い一般教育外国語科目「日本語」は言語文化科目「日本語」として開講される		
1993. 4	学内共同教育研究施設として，「留学生センター」設置 （「日本語・日本文化教育部門」・「指導相談部門」の2部門体制）		
	留学生センターとして，これまで通り「全学向け日本語講座」「日本語研修コース」「日本語・日本文化研修コース」言語文化科目「日本語」を開講		
1994. 4	留学生センター研修生規定が定められ，（1994. 2），研修生の受け入れ開始		
5			「短期留学調査検討委員会」設置
1995. 3			「短期留学受入れ実施に関する検討委員会」設置
10			「短期留学受入れ実施に関する検討委員会」最終報告書の学内合意を得て，「短期交流留学受入れ実施委員会」発足。「名古屋大学短期留学受入れプログラム（NUPACE）」の基本構成を構築
12			短期留学担当助手採用（石川）
1996. 2			短期留学生受入れ開始
4	短期留学生対象日本語授業開始	独立した「留学生相談室」確保	「短期留学部門」発足（留学生センター3部門体制となる）
8			短期留学担当教授着任（野水）
10			「短期留学受入れプログラム（NUPACE）」本格稼働。短期留学担当助教授採用（太田） 新スタッフ3名揃う
11		「指導相談部門」から「教育交流部門」へ名称変更	

	日本語・日本文化教育部門	日本語教育メディア・システム開発部門	教育交流部門 (指導相談部門)	短期留学部門
1997. 5				「短期交流留学生受入れ実施委員会」から「短期交換留学生実施委員会」へ変更
10			留学インフォメーション室を留学生センター分室に開設	
1998. 1			「留学生パートナーシッププログラム」開始	
	インターネットによるWebCMJのオンライン開始			
12			「地球家族プログラム」開始	
1999. 4		「日本語教育メディア・システム開発部門」発足(留学生センター4部門体制となる)		
1999. 8		担当助教授着任(ハリソン)		
2000. 3				実務コーディネータ担当助教授転出(太田)
2000. 4		二人目の担当助教授着任(大野)		
6				担当助手採用(白戸)
2001. 3	留学生センター新棟完成			
2001. 4			「留学インフォメーション室」を「海外留学室」に改名	
2001.12				担当助手退任(白戸)
2002. 8			留学生相談主事の所属を留学生センターに変更	
2002. 4				担当助手採用(許斐)
2003. 3	教授1名退任(藤原)			
2003. 4	講師1名採用(李)			担当助手配置換え(許斐)
2003. 5				担当助手採用(筆内)
2004. 2		助教授1名転任(ハリソン)		
2004. 3	助教授1名退任(神田)			
2004.11		助教授1名採用(石崎)		
2004. 6			教授1名退任(三宅)	
2004. 7			教授1名昇任(松浦) 助教授1名採用(堀江)	
2005. 3		助教授1名転任(大野)		

留学生センター在籍者数

	日本語・日本文化研修生()	日本語研修生		研究生	計
平成10年度	18	前期	33		
		後期	30		
平成11年度	20	前期	22		
		後期	37		
平成12年度	16	前期	36		
		後期	42		
平成13年度	20	前期	26		
		後期	50		
平成14年度	17	前期	26(8)	3	100 (31)
		後期	54(23)		
平成15年度	20	前期	35(3)		
		後期	41(22)		
平成16年度	21	前期	34(11)		97 (36)
		後期	42(25)		

日本語・日本文化研修生については、5月現在の在籍者数を示す
()内は他部局に所属し日本語研修を受講した人数(内数)

短期交換留学生数

年 度	人数
平成7年度	23
〃 8 〃	31
〃 9 〃	47
〃 10 〃	41
〃 11 〃	53
〃 12 〃	45
〃 13 〃	51
〃 14 〃	55
〃 15 〃	56
〃 16 〃	67

平成16年度 留学生センター・国際課教職員

センター長		国際課	
教 授	末 松 良 一	課 長	北 條 泰 親
日本語・日本文化教育部門		課 長 補 佐	市 岡 高
教 授	尾 崎 明 人	〃	門 林 勝 國
〃	鹿 島 央	国際企画掛	掛 長 細 川 雪 文
〃	村 上 京 子	事務職員	横 家 奈 美
助 教 授	粕 山 洋 介	〃	今 津 衣美乃
〃	浮 葉 正 親	〃 (AC21推進室)	久 田 淳 子
講 師	李 澤 熊	〃 (AC21推進室)	滝 智 仁
日本語教育メディアシステム開発部門		学術交流掛	掛 長 合 田 由美子
助 教 授	大 野 裕	事務補佐員	吉 田 幸 代
教育交流部門		国際交流会館掛	掛 長 加 藤 公 子
教 授	三 宅 政 子 (2004年6月退任)	事務補佐員	谷 口 優 子
教 授	松 浦 まち子 (2004年7月教授昇任)	(留学生会館)	事務補佐員 兼 松 英 代
(留学生相談主事)		留学生掛	掛 長 奥 田 重 美
助 教 授	田 中 京 子	事務職員	古 田 知 美
助 教 授	堀 江 未 来 (2004年7月着任)	短期留学生掛	掛 長 横 井 利 行
短期留学部門		事務補佐員	岡 嶋 静 江
教 授	野 水 勉	留学生センター掛	掛 長 坂 口 敏 弘
講 師	石 川 クラディア	事務補佐員	林 佳生子
助 手	筆 内 美 砂	留学生相談室	事務補佐員 白 石 慶 子
国際学術コンソーシアム (AC21) 推進室			
助 教 授	許 斐 ナタリー		

平成16年度 留学生センター各種委員会委員

全学委員会委員

平成16年 7 月 1 日現在

委 員 会 名	委 員	任期	期 間
留学生センター協議会	セ ン タ ー 長 鹿 島 央		
国 際 交 流 委 員 会	セ ン タ ー 長		
学 術 交 流 専 門 委 員 会	セ ン タ ー 長		
全 学 教 育 協 議 会	セ ン タ ー 長		
教 養 教 育 院 設 立 準 備 委 員 会	セ ン タ ー 長		
セクシャル・ハラスメント 防 止 専 門 委 員 会	セ ン タ ー 長		平成16年 4 月 1 日～平成17年 3 月31日
留 学 生 専 門 委 員 会 (オブザーバー) (オブザーバー) (オブザーバー)	野 水 勉 松 浦 まち子 舩 山 洋 介 堀 江 未 来	2 年	平成16年 4 月 1 日～平成18年 3 月31日
派 遣 選 考 委 員 会	堀 江 未 来 野 水 勉		
外国人留学生の奨学金等 採択均等計算ルール WG	野 水 勉		
一 般 廃 棄 物 管 理 者	野 水 勉		平成14年 5 月 8 日～
教 養 教 育 院 統 括 部 言 語 文 化 科 目 部 会	村 上 京 子	1 年	平成16年 4 月 1 日～平成17年 3 月31日
教養教育院運営委員会	村 上 京 子	2 年	平成16年 4 月 1 日～平成18年 3 月31日
セクシュアル・ハラスメント 防止対策委員(相談員)	筆 内 美 砂	2 年	平成16年 4 月 1 日～平成18年 3 月31日
全 学 同 窓 会 幹 事 会	田 中 京 子		
自己評価実施委員会	鹿 島 央	2 年	平成16年 4 月 1 日～平成18年 3 月31日
国際交流会館運営委員会	田 中 京 子 松 浦 まち子	2 年	平成16年 4 月 1 日～平成18年 3 月31日
キャンパス情報ネットワーク 技 術 専 門 委 員 会	大 野 裕	2 年	平成16年 4 月 1 日～平成18年 3 月31日
附属図書館商議委員会 (オブザーバー)	尾 崎 明 人	1 年	平成16年 4 月 1 日～平成17年 3 月31日残任分
学 術 振 興 基 金 委 員 会 専 門 委 員 会	舩 山 洋 介	2 年	平成16年 1 月 1 日～平成17年12月31日
総合保健体育科学センター 運 営 委 員 会	松 浦 まち子	2 年	平成15年 4 月 1 日～平成17年 3 月31日
名古屋大学情報メ ディア教育センター 言 語 教 育 専 門 委 員 会	大 野 裕	2 年	平成15年11月 1 日～平成17年 3 月31日
名古屋大学スペース・ コラボレーション・システム 事 業 委 員 会 共通教育棟子局運営委員会	李 澤 熊	1 年	平成16年4月 1 日～平成17年3月31日
育 児 支 援 W G	田 中 京 子		

委 員 会 名	委 員	任期	期 間
短期留学実施委員会(委員長)	セ ン タ ー 長 野 水 勉 尾 崎 明 人 松 浦 まち子 田 中 京 子 石川クラウディア 筆 内 美 砂		
国際学術コンソーシアム専門委員会	セ ン タ ー 長		
国際学術コンソーシアム推進室会議	野 水 勉 大 野 裕		16年4月1日～17年3月31日
学 生 生 活 委 員 会 (学 生 宿 舎 小 委 員 会)	松 浦 まち子		
野 依 記 念 学 術 交 流 館 運 営 委 員 会	許 斐 ナタリー	2 年	16年4月1日～18年3月31日
災 害 対 策 室 会 議	田 中 京 子	2 年	16年4月1日～18年3月31日
留学生教育交流委員会	松 浦 まち子 田 中 京 子 堀 江 未 来 野 水 勉 石川クラウディア 筆 内 美 砂		

センター内委員会委員

平成16年 7 月 1 日

委 員 会 名	委 員
企 画 運 営 委 員 会	・セ ン タ ー 長 ・センター教員
教 務 委 員 会	・村 上 京 子 ・尾 崎 明 人
経 理 整 備 委 員 会	・鹿 島 央 ・李 澤 熊 ・田 中 京 子 ・野 水 勉 ・大 野 裕
日 本 語 ・日 本 文 化 論 集 編 集 委 員 会	・粕 山 洋 介 ・浮 葉 正 親
広 報 委 員 会	・松 浦 まち子 ・筆 内 美 砂 ・浮 葉 正 親 ・李 澤 熊
将 来 計 画 委 員 会	・セ ン タ ー 長 ・村 上 京 子 ・松 浦 まち子 ・鹿 島 央 ・野 水 勉 ・尾 崎 明 人 ・国 際 課 長 ・大 野 裕
研 究 会 準 備 委 員 会	・田 中 京 子 ・粕 山 洋 介 ・大 野 裕
自 己 評 価 実 施 委 員 会	・尾 崎 明 人 ・松 浦 まち子 ・野 水 勉 ・浮 葉 正 親 ・大 野 裕 ・鹿 島 央
特 昇 委 員 会	・尾 崎 明 人 ・田 中 京 子
日 本 語 研 修 コ ー ス 運 営 委 員 会	・尾 崎 明 人 ・村 上 京 子 ・鹿 島 央
日 本 語 ・日 本 文 化 研 修 コ ー ス 運 営 委 員 会	・李 澤 熊 ・粕 山 洋 介 ・浮 葉 正 親
教 育 交 流 部 門 運 営 委 員 会	・松 浦 まち子 ・田 中 京 子 ・堀 江 未 来
短 期 留 学 部 門 運 営 委 員 会	・野 水 勉 ・石川クラウドディア ・筆 内 美 砂
国 際 課 ・留 学 生 セ ン タ ー 連 絡 会 議	・セ ン タ ー 長 ・鹿 島 央 ・松 浦 まち子 ・野 水 勉 ・国 際 課 長 ・大 野 裕
ホ ー ム ペ ー ジ 委 員 会	・大 野 裕 ・野 水 勉 ・石川クラウドディア ・田 中 京 子 ・李 澤 熊 ・堀 江 未 来
紀 要 編 集 委 員 会	・尾 崎 明 人 ・堀 江 未 来 ・石川クラウドディア
地 域 連 携 委 員 会	・尾 崎 明 人 ・松 浦 まち子 ・浮 葉 正 親
P C 室 管 理 運 営 委 員 会	・野 水 勉 ・大 野 裕 ・田 中 京 子 ・筆 内 美 砂
防 災 委 員 会	・鹿 島 央 ・田 中 京 子 ・筆 内 美 砂
環 境 安 全 委 員 会	・鹿 島 央 ・田 中 京 子 ・筆 内 美 砂

平成16年度 留学生センター・国際課関連行事等記録

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアアシスタンスチーム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
2004年 4月				
1日			非常勤職員初出勤	
2日	国際唹鳴館入居オリエンテーション			国際唹鳴館入居オリエンテーション(留学生対象)
3日			新入生生活ガイダンス(海外留学と国際交流について)	
5日	全学教育科目担当教員FD 留学生会館入居オリエンテーション			NUPACE 生活オリエンテーション NUPACE 銀行, 図書館, コンピューター オリエンテーション(～4/9)
6日	NUPACE 開講式 レジデンス入居オリエンテーション	第50期日本語研修コースオリエンテーション(1回目)	日本語研修生オリエンテーション	NUPACE 春期開講式・教務オリエンテーション
7日	春季新入留学生オリエンテーション(日本語・図書館) 4月教員会議	第23期日本語・日本文化研修コース授業再開		NUPACE 春期専門科目授業開始
8日		第50期日本語研修コースオリエンテーション(2回目)	日本語研修生オリエンテーション	
9日	春季新入留学生オリエンテーション(ビデオ・生活) 国際唹鳴館日本人学生へのオリエンテーション		NUFSA 留学生家族の日本語開講式	国際唹鳴館入居オリエンテーション(名大生, 留学生合同)
11日			名古屋大学公開講座友の会総会 名古屋地域中国留学生学友会「新入中国留学生歓迎交流会」	
12日		全学向け日本語講座前期クラス分けテスト	日本語研修生オリエンテーション	
13日	第50期日本語研修生開講式	日本語・JEMS 臨時合同会議	工学部・工学研究科学生対象留学説明会	
14日	第1回企画運営委員会	第50期日本語研修コース授業開始		
15日		全学向け日本語講座前期授業開始	海外留学入門セミナー	

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
19日			ADRES 会議	
20日			NGK スカラシップ認定授与式 NUFSA Welcome Afternoon Tea (ECIS)	
21日		日本語・JEMS 合同会議		
22日			海外留学入門セミナー	第1回短期交換留学受入れ実施委員会
23日				日仏共同博士課程日仏コンソーシアム総 会(於:東京・日仏会館)
24日			NUFSA 春のバザー	
26日			第1回留学生教育交流委員会	
27日			NUFSA 地域連絡会(バザー反省会) NUFSA 家族の日本語ミーティング	
28日			4月いけばな教室 AFSA 後援会常任幹事会	中国ハルビン工業大学より来訪者
2004年 5月				
6日			海外留学入門セミナー	
10日	多言語災害情報翻訳システム Web 版デモ システムレーション			フランス Program 8 関係者との懇談(於: 名古屋国際交流会館)
11日				フランス留学フェア
12日	広報委員会 5月教員会議 第2回企画運営委員会			
13日			海外留学入門セミナー	ドイツ・フライブルグ大学より来訪者
14日			木浦大学校韓国言語・文化研修生選考 NUFSA 家族の日本語校外学習(東山公園)	
20日		日本語・JEMS 合同会議	海外留学入門セミナー	
22日			AFSA 後援会新入留学生歓迎会&総会	
24日			ADRES 会議 第2回留学生教育交流委員会	
25日	OSIP 留学生を犯罪から守る会(中警察署) 春季新入留学生歓迎懇談会(ECIS)			

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
26日			渡航前ガイダンス(フランス・プログラム8) 瑞穂生涯学習センター「女性セミナー」 5月いけばな教室	
27日	天白生涯学習センターとの連携講座(1)		海外留学入門セミナー	第1回留学生専門委員会 UMAP 単位互換 検討 WG
31日				
2004年 6月				
2日	6月教員会議			
3日			海外留学入門セミナー	明治村フィールドワーク
4日				
9日	第3回企画運営委員会			
10日	キャンパスクリン		海外留学入門セミナー	
	天白生涯学習センターとの連携講座(2)			
15日				第2回留学生専門委員会 UMAP 単位互換 検討 WG
16日		日本語・JEMS 臨時合同会議		
17日	名古屋入国管理局との情報交換会		海外留学入門セミナー	
18日	社員寮面接(東邦ガス)			
23日		日本語・JEMS 合同会議	県国際交流大都市圏構想事業化検討グループ AFSA & 後援会合同会議 海外留学入門セミナー	
24日	留学生交流研究協議会(福井, ~6/25) 天白生涯学習センターとの連携講座(3)			
28日			渡航前ガイダンス(セント・オラフ大学) 第3回留学生教育交流委員会 6月いけばな教室	セントオラフ大学来訪者
30日	広報委員会			
2004年 7月				
1日	国立大学法人留学生センター留学生指導 担当研究協議会(東京大学)		海外留学入門セミナー 国立大学法人留学生センター留学生指導 担当研究協議会(堀江)	
2日	JEMS 教員選考委員会			

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアアシスタンス開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
6日	JEMS教員選考委員会		NUFSA 家族の日本語七夕まつり	
7日	JEMS教員選考委員会 7月教員会議			
8日	留学生会館視察 w/ 成瀬部長		海外留学入門セミナー	
13日	留学生専門委員会		ワークショップ「引越し」	
14日	第4回企画運営委員会		ADRES 会議	
15日		全学向け日本語講座前期授業終了	海外留学入門セミナー	帰国オリエンテーション(夏帰国生対象)
16日				NUPACE サマーパーティー
19日		第23期日本語・日本文化研修コース夏季休業		
20日		全学向け日本語講座夏季集中クラス分けテスト		
21日			7月いけばな教室	
22日		全学向け日本語講座夏季集中授業開始 第50期日本語研修コース夏季休業	海外留学入門セミナー	AC21サテライトフォーラム(野水教授, 石川講師, 於: シドニー大学, 7/20~7/26), 石川講師発表 "International Student Exchange as a Mechanism for Change."
23日				NUPACE 春期専門科目授業終了
28日			AFSA 後援会常任幹事会	第2回短期交換留学受入れ実施委員会
29日			海外留学入門セミナー	
30日	社員寮面接(NGK, 中部電力)			
2004年 8月				
2日			県国際交流大都市圏構想事業化検討グループ	
4日	トヨタ見学会			
5日			海外留学入門セミナー	
10日		全学向け日本語講座夏季集中授業終了		
23日	服部奨学会表彰式(総長室)	浮葉助教海外出張(~9/5 韓国)		
30日	愛知県留学生交流推進協議会第21回運営委員会	第50期日本語研修コース授業再開		
31日		日本語・JEMS 合同会議	ADRES 会議	

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
2004年 9月				
1日	国際交流会館運営委員会	尾崎教授海外出張（～9/9 イギリス）	NUFSA & 新潟大学留学生会（ISAN）との交流会	
3日				
6日		第23期日本語・日本文化研修コース授業再開		
8日	9月教員会議		ルノープログラム応募説明会	
9日		李講師海外出張（～9/13 韓国）		
10日			海外研修（～9/21 堀江：イタリア・EAIE 総会出席） NUFSA 家族の日本語ミーティング JAFSA 大会（軽井沢，～9/13）	
12日				
14日	第50期日本語研修生修了式 第23期日本語・日本文化研修生修了式			
15日	第5回企画運営委員会			
17日		浮葉助教海外出張（～9/30 韓国）		
21日	科研費補助金公募要領学内説明会			
22日			JASSO 第1回企画委員会 AFSA & 後援会合同会議 JAFSA 日中交流シンポジウム（上海，～9/26）	空港出迎えオリエンテーション
23日				
28日	国際喫煙館入居オリエンテーション			国際喫煙館入居オリエンテーション
29日		日本語・JEMS 合同会議	JASSO 児童養護施設打合わせ（和進館児童ホーム） NUFSA 地域連絡会	NUPACE 生活オリエンテーション NUPACE 秋期開講式・教務オリエンテーション
30日	NUPACE 開講式 愛知県留学生交流推進協議会第13回総会			
2004年 10月				
1日	広報委員会		日中友好感謝と記念の集い（中国建国50周年記念式典，市公会堂）	NUPACE 秋期専門科目授業開始
4日				NUPACE 銀行，図書館，コンピューターオリエンテーション（～10/7）

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアアシスタンス開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
5日		日本語教育メディアアシスタンス開発部門	交換留学（全学間協定）応募説明会 JASSO 児童養護施設打合わせ（知多学園 松籟荘）	
6日	10月教員会議	第51期日本語研修コースオリエンテーション（1回目）	日本語研修生オリエンテーション 日本語・日本文化研修生オリエンテーション	
7日	秋季新入留学生オリエンテーション レジデンス入居オリエンテーション	第5期日韓プログラムオリエンテーション 日本語・JEMS 合同会議	海外留学入門セミナー	
8日	国際喫煙館入居オリエンテーション 留学生会館入居オリエンテーション	第51期日本語研修コースオリエンテーション（2回目）	日本語研修生オリエンテーション 日本語・日本文化研修生オリエンテーション	
12日	第51期日本語研修生開講式 第24期日本語・日本文化研修生開講式	全学向け日本語講座後期クラス分けテスト	ルノープログラム（Master Paristech）学 内選考 NUFSA 家族の日本語開講式	
13日	第6回企画運営委員会	第51期日本語研修コース授業開始 第5期日韓プログラム授業開始 第24期日本語・日本文化研修コースオリエ ンテーション		
14日			海外留学入門セミナー NUFSA Welcome Afternoon Tea（留学生 会館）	
15日			NUFSA Welcome Afternoon Tea（ECIS） 医学系研究科博士課程設置記念式典・講演 会	
18日		全学向け日本語講座後期授業開始		
19日		第24期日本語・日本文化研修コース授業開 始		
20日	台風23号のため休講			
21日	将来計画委員会		海外留学入門セミナー AFSA & 後援会合同会議 地球家族プログラム（おにぎり講習会） NUFSA 秋のバザー	
22日				
23日				
25日	ECIS 地域連絡会			第3回短期交換留学受入れ実施委員会
26日			JASSO 第2回企画委員会	

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
27日			NUFSA 地域連絡会（バザー反省会）	
28日	留学生後援会審査委員会		海外留学入門セミナー	ブリュッセル外国語大学来訪者
29日			海外研修（～10/31 堀江：韓国・KAIE 総 会出席） JAFSA 月例研究会（北大）	韓国，KAIE 総会出席（筆内助手 ～10/31）
2004年 11月				
1日	秋季新入留学生歓迎懇談会（名古屋大学）			
2日			ワークショップ「ものづくり」	
4日			海外留学入門セミナー	
5日				ハルビン工業大学学長以下5名の来訪者 （於：名古屋大学本部）
6日	日本語・日本語教育研修会		AFSA & 後援会日帰りバス旅行（富士山） JASSO 児童養護施設子どもフェスティバ ル参加	
8日	トヨタ見学会（NUPACE，6ヶ月コース）		交換留学生選考（～11/12） 留学生ハンドブック改訂WG	
9日	トヨタ見学会（NUPACE，1年コース）		NUFSA 家族の日本語ミーティング	
10日	11月教員会議 第7回企画運営委員会			
11日			海外留学入門セミナー	
12日	地震防災訓練実施 豊秋奨学会国際学生交流会			
13日			海外出張（～11/18 堀江：フランス・レノー 財団及び関係校訪問）	
16日			ワークショップ「地震に備えよう」	
17日			JASSO 留学生選考会	
18日			海外留学入門セミナー	
19日			JAFSA 月例研究会（留学生と就職，名大）	派遣留学フォーラム（野水教授，於：富山 大学）
24日			AFSA & 後援会合同会議	
25日			海外留学入門セミナー	
27日			JASSO 事前セミナー & 打ち合わせ	

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
29日			運用定員申請ヒアリング	
30日	センター長海外出張(～12/5 シンガポール)		イギリス留学説明会	
2004年 12月				
1日		日本語・JEMS 合同会議	ADRES 会議 NUFSA 家族の日本語ライオンズクラブ例会出席	
2日			海外留学入門セミナー	
3日	留学生専門委員会			
4日	留学生就職支援ガイダンス(愛知学生支援 コンソーシアム)			
5日		日本語・JEMS 臨時合同会議		
6日			第4回留学生教育交流委員会	
8日	12月教員会議 第8回企画運営委員会			
9日		尾崎教授海外出張(～12/12 韓国)	海外留学入門セミナー	
11日		第二言語習得研究会全国大会	AFSA 第40回留学生のタベ(NIC)	
12日		第二言語習得研究会全国大会		
14日			ADRES 会議	
15日			地球家族プログラム(しめなわ講習会)	
16日	年度計画・評価担当者会議		海外留学入門セミナー	メキシコ・モントレー工科大学来訪者
17日	キャンパスマスタープラン2005策定に関する検討WG		国立大学法人留学生指導研究協議会(堀江：大阪大学) NUFSA 家族の日本語イヤーエンドパーティー	NUPACE ウィンターパーティー
20日		第24期日本語・日本文化研修コース冬季休業		
21日			ADRES 会議	
23日		全学向け日本語講座後期冬季休業		
27日		第5期日韓プログラム冬季休業 第51期日本語研修コース冬季休業		
28日	御用納め			

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
2005年 1月				
4日	仕事始め			
11日		第51期日本語研修コース授業再開 第24期日本語・日本文化研修コース授業再開 全学向け日本語講座後期授業再開 第5期日韓プログラム授業再開		
12日	1月教員会議 セクシャル・ハラスメント防止研修会 第9回企画運営委員会		CIEE 担当者来訪	
13日	大学入試センター試験監督者説明会		海外留学入門セミナー	
15日	大学入試センター試験監督（1日目）		JASSO 児童養護施設訪問（知多松籟荘）	
16日	大学入試センター試験監督（2日目）			
17日			チューター制度見直しWG	
18日			ワークショップ「引越し」	帰国オリエンテーション（春帰国生）
19日	臨時教員会議			
20日			海外留学入門セミナー チューター面接	
22日			JASSO 児童養護施設訪問（和進館児童ホーム）	
26日		日本語・JEMS 合同会議	JASSO 第1回国際理解教育プログラム検討委員会 AFSA 合同会議	
27日	社員寮面接（NGK，服部留学生会館）		海外留学入門セミナー	
28日		全学向け日本語講座後期授業終了		
31日				第4回短期交換留学受入れ実施委員会
2005年 2月				
1日			ワークショップ打ち合わせ「着物」	
2日	2月教員会議	日本語・JEMS 合同会議		
3日	キャンパスマスタープラン2005策定に関する検討WG		海外留学入門セミナー	NUPACE 秋期専門科目授業終了

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアアシスタンスチーム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
4日			ワークショップ打ち合わせ「華道」	
8日	OSIP 第5回総会	全学向け日本語講座春季集中クラス分けテスト		
9日	第10回企画運営委員会			
10日		第51期日本語研修コース授業終了	海外留学入門セミナー 国際交流大都市圏構想事業化検討グループ	
11日		第24期日本語・日本文化研修コース春季休業		
12日			JASSO 児童養護施設訪問(和進館児童ホーム)	
14日		全学向け日本語講座春季集中授業開始	JAPAN WEEK「日本の伝統衣装 着物」	
15日			アメリカ留学担当者説明会(堀江：日米教育委員会、米国大使館) JAPAN WEEK「書道」	
16日	第3回全学評価担当者会議		日仏共同博士課程選考 JAPAN WEEK「日本の習慣とマナー」 JASSO 第2回国際理解教育プログラム検討委員会	
17日			海外留学入門セミナー JAPAN WEEK「日本人のコミュニケーションスタイル」 JAPAN WEEK「華道」	
18日				
20日		尾崎教授海外出張(～3/6 ロシア極東3都市)		
21日	卒業・修了留学生を送るタペ			
22日	留学生専門委員会		チューター制度検討 WG	
25日			ADRES 会議(年度計画・評価) AFSA 役員歓送迎会	
27日			海外出張(～3/5 堀江：中国及び韓国協定校訪問)	中国、韓国協定校訪問(野水教授、堀江助教、筆内助手、国際課短期留学掛・横井主任/上海交通大学、復旦大学、北京工業大学、北京大学、清華大学、ソウル国立大学、瀋陽大学、高麗大学、～3/5)

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
28日	国際交流会館運営委員会 社員寮面接	日本語教育メディアシステム開発部門	巨大津波の被災者支援を考える会（インド ネシア留学生会）	
2005年 3月				
1日			NUFSA 家族の日本語ミーティング	
3日	キャンパスマスタープラン2005策定に関 する検討 WG		JASSO 第3回国際理解教育プログラム検 討委員会	
4日			NUFSA 家族の日本語（日本文化紹介） JAFSA 企画委員会	
5日	日欧国際シンポジウム（東京、大阪、～3/6） 「欧州における日本語日本文化教育の展 望」		ピア・サポーター養成講座（学生相談総合 センター）	
8日	JEMS 教員選考委員会	全学向け日本語講座春季集中授業終了 第5期日韓プログラム授業終了		
9日	3月教員会議 第11回企画運営委員会			
10日	第51期日本語研修生修了式		JASSO 地域交流事業シンポジウム（堀江）	
11日	毎日新聞との共催によるシンポジウム			
12日	留学生センター地域貢献事業「小中学校教 員・日本語ボランティア現職者研修会」		JAFSA トップセミナー（～3/13 堀江）	
14日			JASSO 留学生地域交流事業企画委員会	
15日				短期留学プログラム関係者協議会（野水教 授，石川講師，於：東京工業大学）野水教 授発表「短期留学プログラムの課題と今後 の行方」
17日	JEMS 教員選考委員会		CIEE 担当者来訪	
18日	留学生センター講演研究会（メステンハ ウザー博士）‘International Dimensions of Higher Education’		留学生センター講演研究会	
19日		村上教授海外出張（～3/26 中国）		

日付	留学生センター 国際課	日本語・日本文化教育部門 日本語教育メディアシステム開発部門	教育交流部門 留学生相談室	短期留学部門
22日			ルノー財団会議（堀江：東京） 第5回留学生教育交流委員会	
23日	留学生センターオープンフォーラム（渡辺 義和助教授）「留学すればしゃべれるよう になるのウソとホント」		留学生センターオープンフォーラム	
25日	名古屋大学卒業式			
26日	外国人学部留学生ガイダンス			
28日				受入れサポート・空港出迎えオリエンテー ション
29日	JEMS 教員選考面接		AFSA 後援会常任幹事会	
30日		日本語・JEMS 合同会議	NUFSA 地域連絡会	
31日			JASSO 児童養護施設打合せ（金城六華園）	

平成16年度 授業担当および学位論文審査

・授業担当（大学院・学部・NUPACE）

1．大学院

国際言語文化研究科

- 鹿島 央：日本語音声学（通年1コマ 4単位）
 舩山洋介：現代日本語学概論（通年1コマ 4単位）
 大野 裕：日本語文法論（通年1コマ 4単位）
 尾崎明人：日本語談話分析論（通年1コマ 4単位）
 村上京子：日本語教育評価論（通年1コマ 4単位）
 石崎俊子：コンピューター支援日本語教育方法論
 （通年1コマ 4単位）
 田中京子：異文化接触とコミュニケーション（通年
 1コマ 4単位）
 浮葉正親：日韓比較文化論（通年1コマ 4単位）
 李 澤熊：日本語教育方法論概説（通年1コマ
 4単位）

文学研究科

- 舩山洋介：理論言語学（通年1コマ 4単位）

工学研究科

- 野水 勉：物質計測工学特論
 （前期1コマ 2単位）
 物質計測工学特論
 （後期1コマ 2単位）
 物質計測工学セミナー
 （前期2コマ 2単位）
 物質計測工学セミナー
 （後期2コマ 2単位）

2．学部

教養教育院

- 松浦まち子（代表）・三宅政子（2004年6月まで）

田中京子・浮葉正親：

基礎セミナー「多文化社会を生きる」（前期1
 コマ 2単位）

浮葉正親（代表）・松浦まち子・田中京子・堀江未来：

全学教養科目

「留学生と日本 異文化を通しての日本理解」
 （後期1コマ 2単位）

村上京子：

全学基礎科目

「言語文化 日本語1」（前期2コマ 3単位）

「言語文化 日本語2」（後期2コマ 3単位）

鹿島 央：

全学基礎科目

「言語文化 日本語1」（前期1コマ 1.5単位）

「言語文化 日本語2」（後期1コマ 1.5単位）

工学部

野水 勉：セラミック材料学（後期1コマ 2単位）

3．名古屋大学短期交換プログラム（NUPACE）

野水 勉（コーディネーター）：

現代日本社会（前期1コマ 2単位）

石川クラウディア：

社会法制論 外国人労働者（前期1コマ 2単位）

日本史入門（後期1コマ 2単位）

筆内美砂：

異文化間コミュニケーション（後期1コマ 2単位）

・学位（博士）論文審査

村上京子（主査）

論文提出者：劉百齡

提 出 論 文：CALL 教材における学習者要因の検討

およびCALL システム環境の提案

留学生センター主催研究会記録

(2004年 4月 ~ 2005年 3月)

日 時 : 2004年 3月12日 13 : 20 ~ 16 : 30

場 所 : 愛知国際プラザ 2 F 研修室

(愛知県三の丸庁舎内)

内 容 : 小中学校教員・日本語ボランティア現職者
研修会「外国人児童・生徒をめぐる地域と
学校」

講 演 : 田中薫氏 (大阪市立豊崎中学校教諭 , 関西
地区日本語指導者研究会事務局代表)

「学力につながる日本語指導 教師とボラ
ンティアの役割 」

コメンテーター : 松本一子氏

(愛知淑徳大学非常勤講師)

参加者 : 小中学校教員 , 語学相談員 , 日本語ボラン
ティア現職者等 , 95名

共 催 : 愛知県国際交流協会 , 名古屋国際セン
ター , 東海日本語ネットワーク

後 援 : 愛知県教育委員会 , 名古屋市教育委員会

日 時 : 2005年 3月18日 15 : 00 ~ 16 : 30

場 所 : アジア法政情報交流センター 2 F ホール

内 容 : 講演会「今日における国際交流の意義と理
念」(英語)

講 師 : Josef A. Mestenhauser 氏 (ミネソタ大学
名誉教授 , 在米チェコ名誉領事)

指定討論者 : 益子エレン氏 (東京財団理事)

参加者 : 学内外の国際教育交流関係者 , 比較高等教
育研究者等 , 17名

日 時 : 2005年 3月23日 13 : 30 ~ 16 : 00

場 所 : アジア法政情報交流センター 2 F ホール

内 容 : オープンフォーラム

「『留学すれば喋れるようになる』のウソと
ホント」

講 師 : 渡辺義和氏 (南山大学総合政策学部助教授)

参加者 : 高校生 , 本学学部生 , 大学院生 , 教官等 ,
20名